

11月以上児発表会

去る12月10日、以上児発表会がありました。

今年度は各クラス入れ替え制にて保護者の方に観覧して頂きました。それぞれの時間に来て頂いたり、駐車場で待機して

頂く等の沢山のご協力をありがとうございました。子ども達も、保護者の方に観て頂けることが大いに励みとなったようです。各クラスの取組の様子や、当日の姿をお伝えします。

<ちゅうりっぷ組>「ハッピージャムジャム」と、「笑顔のまほう」の遊戯をしました。どちらも馴染みのある曲とあって踊りも直ぐに覚え、お父さん、お母さんが観に来てくれると知ると、今まで以上に張り切る子ども達でした。特に、すみれ組さんにお客さんになってもらい披露した時は、とても堂々とした姿で踊っていました。本番当日、実際にステージに立ち幕が開くと一気に緊張した様子ではありましたが、普段通りの姿で楽しんで踊っていました。

初めての以上児発表会、とても楽しいものとなりました。



<さくら組> オープニング「おどるポンポコリン」の合奏と、オペレッタ「泣いた赤鬼」をしました。どちらもやる気满满！日々の練習から楽しんで行ってきました。特に、オペレッタは自由遊びの時にも自分たちからやりたいと言い出し、音楽をかけてもらうとみんなで泣いた赤鬼ごっこを楽しんでいました。本番当日は、ワクワクした様子で役になり切りながら、普段通りの姿で演じていました。終了後は、子ども達の表情からは達成感が感じられ、「もう1回やりたい」と聞かれる程、楽しかったようです。

<ひまわり組> 「11ぴきのあほうどり」の馴染みのある絵本を題材に劇をしました。役をじゃんけんで決めるのではなく、役の内容を理解した上で話し合いの元で決めることができました。誰もが自分がやる役を納得し、自分たちで台本を読んだり、友だちと教え合ったりしながら台詞を覚えました。

どうしても声が小さくなってしまふことが課題でしたが、本番当日は誰もが今までで一番大きな声で自信に満ち溢れた姿で演じていました。そしてエンディングのぶち合わせ太鼓。日々の取り組みでは太鼓の時間になると気が引き締まり、全員が集中して取り組んでいました。心を一つに、心に響く音色を聴かせてくれました。発表会を通し、一つのことに向かってみんなで協力する心など、様々なことを学びました。

どのクラスも発表会を通して、観てもらう喜びやみんなで演じる楽しさを味わい、また一つ大きく成長し、思い出深いものとなりました。

大豊作！ 柏木農園

今年の冬は、大根、白菜が大豊作だった柏木農園。

各クラス順番に収穫を楽しみ、鍋作りのクッキングをしまし

た。ちゅうりっぷ組は、牛乳パックで作った包丁とまな板で豆

腐を切ったり、人参、大根の型抜きをしました。さくら組は、鶏団子を混ぜ、白菜、えのきをほぐすことをしました。ひまわり組は、スプーンを2本使い鶏団子を鍋へ投入したり、ちくわ、ネギを包丁で切り等、年齢ごとにクッキングを楽しみました。給食で食べた自分たちで作った鍋の味は格別で、心も体もほっこりと温かくなりました。

